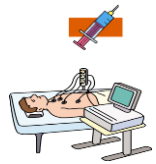
心臓カテーテル検査を受ける方へ （透析患者様用）

患者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様

症状説明：狭心症や心筋梗塞の診断のために心臓カテーテル検査を行います。手首･肘･大腿部のいずれかに局所麻酔をし、血管から細い管（約2～3㎜）を心臓に進め造影剤を流して血管の狭窄や閉塞の程度と心機能の評価をし、今後の治療方針といたします。心臓以外の血管カテーテル検査を同時に行なうことがあります。	退院基準：①穿刺部の出血がない　②発熱がない	特記事項：

	外来	入院当日（　/　）	検査当日（検査前）（　/　）	検査当日（検査後）	検査後1日目（　/　） 退院日
検査・ 治療・ 処置	●血液検査 ●胸部ﾚﾝﾄｹﾞﾝ撮影 ●心電図検査 上記の検査を行います。	●左記の検査が外来で行われていない場合、入院時に検査を行います。 ●検温・血圧測定を行います。 ●身長･体重測定をします。 ●リストバンドを付けます。 ●足の付け根から検査する場合は、足の甲の脈が触れるところにマジックで印をつけさせていただきます。	●検温・血圧測定をします。 ●検査着に着替えていただきます。肌着は着用できません。 □手首・肘からの場合、ズボンをはいておくことができます。 □足からの場合、検査用パンツをはきます。ズボンをはくことはできません。	●検温・血圧測定をします。 □帰室時　□帰室後1時間　□帰室後3時間 ※医師の指示により、回数が増えることがあります。 ●検査終了後、医師がガーゼ交換を行います。 □手首の場合、帰室後3時間 □肘からの検査の場合、帰室後6時間 □足からの場合、帰室後8時間経過していれば、21時に、21時を超える場合は翌朝となります。 ●医師の指示により、レントゲンを撮ることがあります。	●血液検査 ●心電図検査 上記の検査を行います。 ●検温・血圧測定をします。 ●医師の指示により、レントゲンを撮ることがあります。 
薬剤		●普段内服しているお薬がありましたらお知らせ下さい。	□午前検査の場合 7～9時頃から点滴を始開始します。 □午後検査の場合 11時頃から点滴を開始します。 ●中止する薬が、 あります。（　　） ありません。	●基本的には、指示があるまで点滴を継続します。	
安静度・ リハビリ テーション	●普段通りの生活ができます。	●病棟内歩行できます。	●カテーテル室へは、下記方法で行きます。 □手首：車椅子 □肘の内側：車椅子 □足の付け根：ベッド	□手首からの場合、帰室時よりトイレ歩行できます □肘からの場合、帰室後３時間までベット上安静です。看護師の付き添いがあればトイレ歩行ができます。 □足から検査の場合、使用する管によって4～8時間はベッド上安静になります。それまで出血予防の為，穿刺部位の下肢を固定します。その後トイレ歩行できます。 ※詳しい時間については、説明します。	●病院内歩行ができます。
排泄	●制限はありません。			●下肢からの検査の場合、ベッド上安静の時間はベッド上での排泄となります。	●制限はありません。
清潔	●入浴できます。	●足から検査の場合は、足の付け根の毛ぞりを行います。	●時計、指輪等のアクセサリー、入れ歯等　はずせるものははずしてください。 ●化粧、マニキュアはしないで下さい。	●安静解除後、着替えができます。 ●入浴はできません。	●入浴できます。
食事・ 栄養管理		●減塩食・カロリー制限食になります。	●午前検査の場合：朝食は延食になります。 ●午後検査の場合：昼食は延食になります。	●検査後食事は食べられます。 ●検査後は水分もしっかりとって下さい。 ※制限のある方は、制限内での飲水となります。	
説明・ 指導・ 教育	●検査・同意書の説明を行います。	●病棟の案内をします。 ●検査前後の経過について説明します。 ●薬剤師から薬について問診があります。	●検査前にお手洗いを済ませてください。	●安静解除の際は看護師が伺いますので、それまでベッドでお待ち下さい。 ●ご家族の方・ご本人へ検査直後に検査医から検査結果の説明があります。看護師が面談室へご案内します。 ※検査直後に説明できない場合は、翌日説明します。主治医の都合がつかなければ他の医師が説明する場合もあります。	●看護師から退院の説明をします。 □次回外来受診日 □内服説明 □生活での注意点